

行 政 報 告

第4回町議会定例会の開催にあたり、日頃からの町政運営に対する議員各位のご協力に対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、円安及び原油価格・物価高騰の影響により、地方財政は例年にも増して厳しい状況にありますが、計画した各種施策や事業等は、みなさまのご理解とご協力のもと、順調に進めさせていただいております。引き続き、本年度の残された行政課題の解決に努めてまいりますので、一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます、行政報告に移らせていただきます。

はじめに、水柱対策について申し上げます。

8月8日午後5時頃、住宅地にほど近い飯生神社前の林地からごう音とともに忽然と現れた水柱は、50日間の長きにわたり近隣住民や行政を悩ませ続けましたが、9月26日未明、突如として噴出を止めて以降静寂を保っております。

9月26日から予定していた防音対策工事は、施工内容を一部変更して26日は井戸内のカメラ調査、27日は電気伝導等による地層検査、28日には再噴出に備えたバルブを装着し、29日に大型サイレンサー（吸音パネル）を設置して完了いたしました。噴出水対策工事は、10月17日にセパレーター（気液分離機）等の設置を開始し、20日に完了しております。

これにより水柱対策工事は一段落となりますが、仮に再噴出することであっても、セパレーター等により水の飛散が抑えられ、騒音も一定程度抑制できると考えております。

今後は、専門家や関係機関と連携を図り、長期間にわたってモニタリング調査を継続し、噴出原因や今後の対策を検討していくこととなりますが、町として大所高所から最善策を考えていきますので、町民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

次に、寄附金関係について申し上げます。

8月8日に噴出した水柱の対策費用が膨大となっているため、ふるさと納税制度を活用し、期間限定で実施しました「ガバメントクラウドファンディング」及び企業版ふるさと納税による「水柱対策支援プロジェクト」の寄附金募集をしたところ、全国から多くの寄附金をいただいております。

さらに、一般寄附金も町内外から多数いただいております、みなさまのご理解・ご協力に対し心より感謝を申し上げますとともに、水柱対策費用として有効に活用させていただきます。

また、長万部町まちづくり基金条例に基づく「ふるさと納税」による寄附金につきましては、前年度実績より大幅な収入増となっているため、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、長万部町地域公共交通計画について申し上げます。

長万部町の地域公共交通の現状や課題を整理し、将来に向かって持続可能な公共交通ネットワークなどの検討・協議を進めていくため、9月5日から10月29日までの約2カ月間、長万部町地域公共交通活性化協議会によるデマンド交通短期実証調査運行が実施されました。

今後は、この調査運行の検証が協議会で行われ、地域にとって望ましい交通体系のあり方についての協議結果の提言をいただき、長万部町地域公共交通計画を策定してまいります。

次に、長万部町史の編さんについて申し上げます。

長万部町史の編さんにつきましては、事業を円滑かつ効率的に推進するため、9月30日に第1回長万部町史編さん委員会を開催し、産業団体に精通する方などを中心に5名の町民を委員に委嘱させていただき、正副委員長を選任や編さんの基本方針、今後のスケジュールなどの協議を行いました。

町史の編さんは、編さん委員会の協議や承認をいただきながら資料収集・調査・原稿執筆などを含めて、今年度から7年後の令和10年度完成を目指して進めてまいります。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

現在、町内では5つのトンネル工事が施工中で、12月1日現在において4箇所トンネルが掘削中であります。

立岩トンネルのルコツ工区では、本坑5,000メートルのうち4,594メートルが、豊津工区では、本坑2,065メートルのうち1,457メートルが、豊野トンネル外1箇所では、本坑2,105メートルのうち1,362メートルが、内浦トンネルの静狩工区では、本坑5,570メートルのうち3,074メートルが掘削されております。

なお、国縫トンネルは、10月13日に本坑1,340メートルが、本町ではじめて地山部のトンネル掘削を完了したところであります。

次に、生活環境関係について申し上げます。

本年4月から10月までの渡島廃棄物処理広域連合の焼却施設に排出した長万部町の可燃ごみの量は、約981トンで、前年度同期と比較し、約24トン減少しております。

また、ごみの減量化の一環として実施しております衣類の無料回収は、役場窓口での随時受付と5月の巡回地域回収を実施し、今年度は10月末で660 kilogramsの衣類を回収いたしました。

廃食用油は、今年度も役場・福祉センター・各会館のごみステーションに無料回収ボックスを設置して、現在までに450リットルを回収しており、使用済小型家電についても、同じく役場庁舎内の無料回収ボックスで、590 kilogramsを回収しております。

町民のみなさまには、今後ともごみの減量化やリサイクルへのご協力をお願いいたします。

次に、町民の健康増進等について申し上げます。

健康づくりの推進につきましては、特定健診やがん検診といった各種検診の受診率向上のため、無料クーポン券の配布や対象者への受診勧奨を行いながら実施しております。今後も検診の必要性を周知し、早期発見のため受診率向上に努めてまいります。

健康教室は、10月に長万部高等学校で命の大切さや自己肯定感を高めるための授業を実施し、高齢者を対象とした食生活改善教室は、9月に国縫地区、10月に旭浜地区で、食育教室は、10月にマリア幼稚園で実施しております。

次に、感染症対策について申し上げます。

新型コロナウイルスワクチンの接種は、現在、オミクロン株に対応したワクチンの接種を実施しております。

また、インフルエンザの予防接種は、長万部町立病院において実施中であります。

感染症の予防には、ワクチン接種のほか、うがいや手洗い、マスクの着用、咳エチケットなどの感染対策を徹底することが大切であることから、今後も感染症対策について、町広報などにより周知を続けてまいります。

次に、高齢者福祉関係について申し上げます。

地域敬老会につきましては、従来と同様に地域敬老会を開催していただくか、昨年と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域敬老会開催の代替として記念品等を配布していただくことにより高齢者の長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらっていただくよう各町内会等へお願いしていたところ、対象者1,218人に対し1地域で4人が出席し開催され、記念品等の配布は26地域で1,095人へ配布していただきました。

また、長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、9月10日から19日までの10日間、町内にある公衆浴場に助成を行い無料開放を実施したところ、1,104人が利用されました。

次に、冬期福祉給付金（福祉灯油）について申し上げます。

本格的な冬に向かい、灯油料金の増嵩、電気料金の高止まりに鑑み、高齢者や障がい者等で低所得の状況にある方に灯油購入費等の一部を助

成し、経済支援により在宅福祉の向上を図ることを目的に、昨年度と同様に冬期福祉給付金事業を実施するため、補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物の牧草やサイレージ用トウモロコシは、大きな天候の崩れもなく、牧草はおおむね平年並の収量を確保し、サイレージ用トウモロコシは、平年以上の収量を確保している状況であります。

生乳生産量は、４月から９月まで約４，７８３トンを出荷し、前年に比べ約４４トンの減となり、乳代は約４億２，３６７万円で、前年に比べ約４９２万円の減となっております。

黒毛和牛の４月から９月までの販売頭数は１１８頭、販売金額は８，１８７万９千円で、前年同期と比較して、販売頭数は１１頭の減で、販売金額は２，６３４万８千円の減となりました。

牧野関係は、生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場運営事業を実施しておりますが、１０月２５日に下牧が完了しております。この間の入牧延べ頭数は６０，０７８頭で、前年に比べ３，１７１頭の減となりました。

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業は、富野地区にて地拵・植栽事業を５．４５ヘクタール実施し、１０月２８日に完了しております。

また、森林整備センターとの分収造林事業は、豊津地区にて作業道新設工事を９０１メートル実施し、１１月１４日に完了しております。

次に、漁業関係について申し上げます。

本町のホタテ貝養殖漁業での１１月末現在の種苗の生育状況は、へい死・変形等は平年に比べ少なく順調に生育しておりますが、春の耳吊り時期までの生育状況を、渡島北部地区水産技術普及指導所等各関係機関と連携し、調査を行う予定となっております。また、成貝は例年どおり１２月中からの出荷を予定しております。

本年の秋鮭漁は、11月25日現在、漁獲量は約127トンで、4年連続の減少となり前年に比べ約8トンの減、漁獲金額は約8,635万円で前年に比べ約3,070万円の減となっております。

このように年々減少し続ける秋鮭の回帰率を改善するため、長万部漁業協同組合が立ち上げた町内河川への稚魚の放流事業への支援策として、関連する補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、商工観光関係について申し上げます。

中小企業の業況は、原材料価格の上昇や人手不足への懸念、さらにはコロナ禍における消費減少など、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、中小企業の健全育成と経営安定のため、国や道の様々な金融支援に対し、関係機関と連携し、町としての認定窓口等の設置を行っております。

上期の観光客入り込み数は、新型コロナウイルス感染症流行の影響がありました前年度の約6万1,100人に対し、本年度は水柱の影響もあり、約11万3,700人で86.1パーセントの増加となりました。

また、観光客誘致事業は、新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら、8月には札幌ドームで開催された「大ほっかいどう祭」、9月には3年ぶりの開催となりました「さっぽろオータムフェスト」に参加し、本町の特産品の販売などを行い観光PRを行っております。

次に、労政関係について申し上げます。

本年度も季節労働者の労働環境向上のため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会を中心として、雇用相談や求人情報の提供、技能研修などを通して、通年雇用に向けた支援を行っております。

次に、消費者相談関係について申し上げます。

近年、悪質商法や訪問押し買い詐欺、料金不正請求など次々と新しい手口による消費者問題が多く発生しており、消費者の安全確保についての苦情相談など、住民に対して必要な情報収集や提供を行うため、全国

消費者生活情報ネットワークを活用して全国の最新苦情相談情報を収集しております。

今後、ますます巧妙化する手口への対応が必要とされる中、専門研修参加等により相談担当職員の資質向上を図り、消費者啓発セミナーの開催、関連する部署間の情報共有や町広報での消費者の安全確保に関する情報周知を継続して行い、住民の消費者生活被害予防に努めてまいります。

次に、建設関係について申し上げます。

土木事業では、カマオツナイ橋外修繕設計業務委託は、令和5年3月27日までの工期で、町道浅見線災害調査設計業務委託は、令和5年2月28日までの工期で実施中であり、町道北九号線側溝取替工事につきましては、工期内に完了しております。

また、長万部中央跨線橋撤去工事を北海道旅客鉄道株式会社に工事委託しておりますが、工事金額が確定したことによる契約金額の変更について、議決が必要なことから本定例会に提案いたしております。

河川維持関連では、普通河川ナイベコシナイ川及びオタモイ川維持工事を令和5年3月31日までの工期で施工中であります。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事及び管内道路排水等清掃業務は、工期内に完成しております。また、町道静狩中央線排水整備工事は、令和5年3月31日までの工期で施工中であります。

住宅関係では、町営住宅はまなすシルバーハウジング非常灯交換工事は、工期内に完了しております。北海道新幹線建設に伴い移転建設となる町営住宅仮称新南部団地建設工事実施設計業務委託につきましては、令和5年3月10日までの工期で業務を実施中であります。その他、町営住宅や各公共施設の修繕工事は、計画的に実施しております。

また、長万部町特定公共賃貸住宅管理条例が、法改正などにより一部改正が必要になることから、本条例の一部改正について本定例会に提案いたしております。

除雪関係では、協同組合長万部町建設協会と11月7日に本年度の除排雪に関する委託契約を締結し、町道や公共施設等の除排雪作業を実施してまいります。

公園事業では、今年度のあやめ公園パークゴルフ場の利用は、11月3日に終了いたしました。パークゴルフ場の利用者は4,005人で、前年度に比べ17.3パーセントの増となっております。また、長万部公園キャンプ場は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて3年ぶりに開園し、2,252人が利用されております。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

公共下水道汚水管路（1・3号幹線系統）カメラ調査外業務委託は、11月7日に完了しております。

次に、ガス事業について申し上げます。

ガス低圧供給導管入替工事は、令和5年3月21日までの工期で施工中であります。

ガス料金関係につきましては、ガス原料価格の高騰等を踏まえ、厳しい事業経営のリスク要因となっている「原料費調整制度」の単位料金単価に係る調整額の上限額を令和5年1月1日から廃止するため、関係する条例の一部改正を本定例会に提案いたしております。

また、資源エネルギー庁より「電気・ガス料金の激変緩和措置」で都市ガス需要家の使用量に応じ、令和5年2月検針分料金から値引きを実施する予定であり、事業費補助金が確定いたしましたら町広報やホームページで詳しく周知したいと考えております。

次に、水道事業について申し上げます。

長万部地区浄水場負荷開閉器取替工事は、9月26日に完了しております。

また、北海道新幹線建設工事に伴う水道管機能維持検討設計委託業務は、12月6日に完了しております。

次に、病院事業について申し上げます。

町立病院では、新型コロナウイルス感染症に対して発熱外来での診療を続けており、町内での感染拡大時には診療体制を整えるため、一部外来診療を休診などの対応をとっております。

今後も感染状況を確認しながら随時対応してまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

次に、消防関係について申し上げます。

11月末現在までの火災発生件数は5件で、うち野火が3件、車両火災が1件、電線火災が1件発生しております。

救急件数は276件で、うち急病が129件、交通事故が11件、一般負傷が37件、その他転院搬送などが91件で、ドクターヘリによる搬送が8件となっており、前年同期と比較して、火災が2件の増、救急が16件の増、ドクターヘリ搬送件数は2件の減となっております。

火災予防の事業では、秋の全道火災予防運動期間中、全町にポスターや「火の用心」の旗を掲示したほか、旅館、大型店舗など不特定多数の方が出入りする施設の防火査察を実施いたしました。

また、例年1月5日に開催している消防出初式は、学習文化センターにおいて式典を行う予定であります。

終わりに、本定例会に提案した議案は、条例の制定、一部改正、各会計補正予算など、合わせて18件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。